



ゆづりは

堺市立図書館だより

第21巻 第1号 (通巻78号)

発行日 令和8年6月10日

編集・発行 堺市立中央図書館
〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072 (244) 3811

FAX 072 (244) 3321

https://web.d-library.jp/SKI01/g0102/
libcontents/search/?gid=1025



▲電子版

・堺市図書館まつりを開催しました！・

令和8年5月6日に中央図書館で堺市図書館まつりを開催しました。図書館を中心に活動しているボランティアグループとともに、絵本の読み聞かせや工作などを行い、子どもたちに本や図書館に親しみをもってもらうイベントです。

ウクレレの音色とともに始まった玄関前のオープニングではたくさんの方が集まり、恒例のくす玉割りが行われました。



集会室ではわらべうたから始まり、おはなしや絵本の読み聞かせ、人形劇、堺の伝説の語りなどが行われました。ロビーには子どもたちが自由に絵本を手にとって読むことができる「絵本のひろば」を設け、小さな子どもたちもわらべうたや読み聞かせを楽しみました。

図書館前では「たのしい工作」と「あそびの広場」を行いました。紙コップを使った「けんだま」や「ぱくぱく」も人気でしたが、作ったしゃくとり虫を転がして遊ぶ「ヒョコヒョコしゃくとり虫レース」に子どもたちは夢中になっていました。

1階フロアで行った「図書館キーワードラリー」

も好評で、文字を集めた子どもたちには移動図書館あおぞら号のぬりえをプレゼントしました。

また、中央図書館のバックヤードツアー「図書館探検」も行い、普段入ることができない書庫などを紹介しました。

ボランティアの方による楽しいプログラムと、子ども司書23名のお手伝いもあり、今年もたくさんの方にご参加いただきました！ありがとうございました！



たくさんの方が参加してくださり、大盛り上がりの堺市図書館まつりでした。

☆ご協力いただいたボランティアグループ☆

- ・絵本の会ふうせん
- ・絵本のひろば よついで！
- ・おはなしウーフの会
- ・おはなしかご
- ・おはなしそよかせ

- ・おはなしどんぐり
- ・キッズバル
- ・くるみひろばの会
- ・子ども文化ボランティアサークル ア・ラマ

- ・堺市子ども文庫連絡会
- ・人形劇団 座パリテ
- ・人形劇とおはなしのふう〜
- ・よみきかせサークル はなしのたね
- ・わらべうたの会こまめ (五十音順)

(中央図書館 子ども室)

目次

- ・堺市図書館まつりを開催しました！ … 1
- ・この本で解決！
「健康診断」 … 2
- ・中央図書館の再整備に向けた
取り組みについて① … 2
- ・シリーズ堺の〇〇「橋本家」 … 3
- ・デジタル郷土資料展『昭和の堺市』 … 3
- ・司書のイチ押し 『中二階』 … 4
- ・堺市立図書館電話番号一覧 … 4

ゆづりは

とは…

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて
譲り葉の
ゆづりしあとに
また新しく



この歌にちなみ、年月を経て、
世代を越えても、次々に新しい
情報をお伝えできるように、
堺市立図書館だより
「ゆづりは」と名づけました。

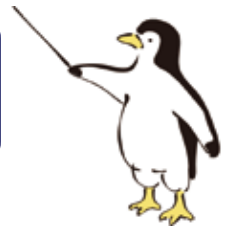
バックナンバーは

こちらから▶





健康診断



図書館に寄せられた様々な質問と回答を紹介します

Q 健康診断の検査結果がよくわからなかったの
で、数値や内容が理解できる本はありますか？
鉄分や亜鉛不足を補うための料理についても知
りたいです。

A 『最新 健康診断と検査がすべてわかる本 改訂新版』が便利です。検査内容、基準値、
基準値を外れているときに疑われる病名などがわかりやすく解説されています。亜鉛については、「鉄や銅などとともに生体内必須微量元素と呼ばれるミネラルで、牡蠣、レバー、うなぎ、牛肉、卵黄、チーズ、アーモンド、カシューナッツ、抹茶、ココアなどに多く含まれる」と説明されています。また、鉄や亜鉛が欠乏するとあらわれる症状についても紹介されています。



『最新健康診断と検査がすべてわかる本 改訂新版』
矢富 裕／編著
時事通信出版局 2024

レシピについては、『役立つ栄養学 100レシピ & 500食材べんり帳』に「ミネラルを効率よくとる常備菜」という章があり、汁物や煮物など日常的に取り入れやすいレシピが掲載されています。



『役立つ栄養学 100レシピ & 500食材べんり帳』
主婦の友社／編
主婦の友社 2018

年です。健康寿命とは、行動を制限されることなく、健康に日常生活を送れる期間のことです。

自分の健康状態を把握し、日頃から栄養バランスを意識した食事をとって、いつまでも元気に過ごしたいものです。

『八訂 食品 80 キロカロリーガイドブック』には、「栄養素別含有量の多い食品リスト 50」が掲載されており、鉄や亜鉛についても100gあたりの含有量が多い食品順のリストがあります。日々の食材選びに役立つ情報です。

厚生労働省のデータによると、平均寿命と健康寿命の差は男性で 8.49 年、女性で 11.63



『八訂食品 80 キロカロリーガイドブック』香川 明夫／編 女子栄養大学出版部 2022

(南図書館 レファレンス担当)

中央図書館の再整備に向けた取り組みについて①

令和5年1月から図書館ニューデザインプロジェクトチームを立ち上げ、中央図書館の再整備に向けて検討を進めています。同プロジェクトチームでの検討を踏まえ、令和7年12月に教育委員会として、「中央図書館再整備に向けた基本的な考え方」を策定しました。



◀「中央図書館再整備に向けた基本的な考え方」



令和8年度は、貸出・返却・レファレンス等をはじめとした利用者サービスによる地域の図書館としての機能（中央図書館パブリックサービス機能）について、建替え候補地の検討及び「(仮称)中央図書館パブリックサービス機能基本構想」を策定します。策定にあたっては、今後のパブリックサービス機能の整備に生かすため、市民の方から多様な意見やニーズを効果的に聴取、反映していく予定です。

市立図書館全館のバックアップ機能（中央図書館センター機能）については、世界遺産・大仙公園エリアでの再整備を検討します。また、(仮称)堺ミュージアムや公文書館機能との複合化の可能性も検討します。

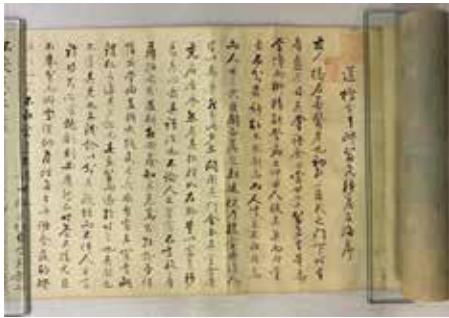
今後も中央図書館の再整備に向けて、定期的にゆづりはにてお知らせして行く予定です。

(中央図書館 企画情報係)

シリーズ 堺の00

橋本家

江戸時代の堺の医家のひとつに橋本家があります。橋本家は元は飾磨（シカマ、現・兵庫県姫路市）で代々内科医を生業とした家でしたが、同家の橋本了叔（リョウシュク）が京都の医師・三角氏に医学を学び、師の死後の1782年、堺の商人・指吸（ユビスイ）氏の求めに応じ、堺へ移住しました。



『橋本文書』
(河野文吉旧蔵)
橋本了叔が堺へ移住するにあたり、京都の知人から送られた詩文を集めたもの。

橋本了叔の名は広く知られていたとみられ、1786年には遠く紀伊国（現・和歌山県）から往診を乞われています。



『了叔紀行』
(河野文吉旧蔵)
橋本了叔が堺から紀伊国へ往診した際に著した紀行文。

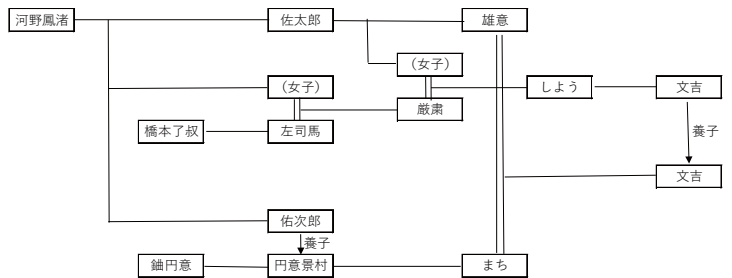
橋本了叔の子・橋本左司馬（サシバ）も名医として知られ、『沙界人名録』（1851年刊）にその名が見られます。橋本左司馬は詩歌を嗜んだことでも知られ、来堺した漢詩

人の広瀬旭荘（キョクソウ）により結成された漢詩結社・消遥吟社にも参加しています。



『鈿氏文書』12
「消遥吟社詩稿」

また、堺の医家には橋本家の他に、河野（カワノ）家や鈿（イカリ）家がありますが、家系を紐解くとこれらの医家の間で親類関係を結んでいることがわかります。



【参考資料】

- 『堺市史』第7巻 堺市役所／編纂 堺市役所 1930
- 『堺市立図書館所蔵鈿氏文書に就て』河野文吉／著 河野文吉 1975
- ★ 『岩国市並に錦川沿線風土誌稿』下 庄司忠／著 岩国病院 1975
- ★ 印は国立国会図書館デジタルコレクションの図書館送信サービスで閲覧可能

(中央図書館 地域資料担当)

ホームページ (HP) にてデジタル郷土資料展「昭和の堺市」を公開しました

昨年は昭和で数えると昭和100年にあたる年でした。これを記念し、同年11月1日から24日にかけて、中央図書館1階ロビーにて、昭和時代の堺市を振り返る郷土資料展「昭和の堺市」を開催しました。同展では、昭和元年に行われた大正天皇の葬儀から、奇しくも昭和最後の年である昭和64年に行われた堺市制100周年事業まで、様々な資料を展示しました。

このたびHPにて、同展を再現するデジタル郷土資料展「昭和の堺市」を公開いたしましたので、ぜひご覧ください。



▲昭和の堺市 HPはこちら

(中央図書館 地域資料担当)



司書のイチ押し



『中二階』

ニコルソン・ペイカー／著

手前語りで申し訳ないのですが、最近初めて、「中二階」というものの実物を目にしました。私の働いている図書館の1階と2階の間に「M2」表示のフロアがあって、それがどうも「中二階」という意味らしいのです。私は、それは中二階が2階で2階が3階なんじゃないかと思うのですが、どうしてか「中二階」というのです。試しに書架にあった広辞苑（第七版）を引いてみると「普通の二階よりは低く、平屋よりはやや高く構えた二階」とあります。それは結局2階なのではないかとも思うのですが、近ごろはそういう呼び方にも違和感が無くなってきているのですから人間は不思議です。

ところで、どうしてこんな毒にも薬にもならない話をしているかというと、この場を借りて紹介したい本というのが『中二階』というタイトルで、その内容というのが、実に毒にも薬にもならない内容だからです。昔、初めて本屋でこの本を見つけたとき、ポップに「マイクロ小説」と書いてあったのですが、なるほど上手い表現だと感心したものです。私がこの小説のことを説明しようとしたら、世界一短い行き来し物語、とか主人公より牛乳パックの開け口の方が印象に残る、とか書いてしまって、だれにも手に取ってもらえないに違いありません。それが「マイクロ小説」といわれたら格好いいし、気になるじゃないですか。そこでこの場で



『中二階』
ニコルソン・ペイカー／著
白泉社 1997

の本を宣伝したい私としては、この「マイクロ小説」という表現をぜひとも拝借したい。しかし「マイクロ小説」を使って『中二階』を説明しようとするとなかなか筆が進まないのです。なるほど些細なことに紙面を割きに割いているせいで、顕微鏡をのぞきながら皿の上のゾウリムシでも探している気分になるところなど、マイクロという言葉がぴったりだと思うのですが、じゃあそれがどうして面白いのか考えてみると、自分でもよくわからないから困ったものです。

それでも、分からないなりに何か書かないと話が進まないで思い付きを書いてみると、これは道草の楽しさじゃないでしょうか。読書にも道草というものがある、それは例えば少し本を閉じて自分で物語の続きを考えたり、イマイチ意味の通らない表現が元からなのか翻訳のせいなのか悩んでみたり、中古で買った文庫本に引かれたマーカーペンの意味について思いを巡らせることだと私は思うのですが、そういう類の道草を嫌でも楽しめるのが本作『中二階』です。

いよいよ紙面も少なくなってきました。かの有名なフェルマーの最終定理は余白が少なかったために世の数学者を長年悩ませたそうですが、ここまで読んでくださった辛抱強い方々のためにも『中二階』の内容で残りの紙面を埋めて、この稿を終わるべきでしょう。この小説は「仕事中に靴紐が切れてしまったので職場の向かいのお店まで買いに行く話」です。さてこれできっちり内容の半分をお伝えいたしました。あとは皆さまご自身の目で確かめていただければ幸いです。

(K・M)

堺市立図書館電話番号一覧

中央図書館	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター・舳松人権歴史館	
移動図書館	244-3811	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
堺市駅前分館	222-0140	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
中図書館	270-8140	美木多分館	296-2111	図書館カウンター堺東	232-1011
東百舌鳥分館	234-9600	北図書館	258-6850		
東図書館	235-1345	美原図書館	369-1166		
初芝分館	286-0071				



▲図書館 HP

<https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>